

3

ニシジマ精機株式会社

～令和7年1月24日(金)訪問～ 【大分市】

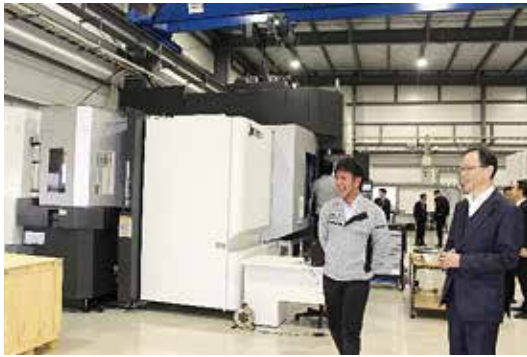


ニシジマ精機株式会社は、昭和23年に佐伯市で船舶部品の修理工場として創業された企業で、以降、発電所、製鉄、船舶等の関連機器といった主に大型部品の加工・組立を行っています。平成30年には、新たな分野への挑戦として、九州工業大学の超小型人工衛星プロジェクト「てんこう」の内部構造の製造を担当し打ち上げ成功に貢献しており、現在でも日本大学のプロジェクト「てんこう3」の開発に携わるなど、宇宙分野での実績を重ねています。近年では、この技術力が高く評価され、大手半導体製造装置メーカーから精密機械加工を受注するようになり、令和3年には大分流通業務団地に専用の新工場が稼働するなど、県内の先端技術産業をけん引する企業の一つとなっています。

懇談では、熊本県に進出した台湾の半導体メーカー「TSMC」の県内企業へ与える影響や、半導体産業を取り巻く情勢等についてお聞きし、意見交換をしました。皆さんからは、熊本県と大分県をつなぐ中九州横断道路の早期完成や人材育成を含む県内半導体産業振興へのご要望のほか、大分空港の宇宙港化実現に向けて期待する声もお聞きました。

半導体業界は非常に重要な産業のひとつであり、県としても、引き続き支援に取り組んでいきたいとお伝えしました。

懇談風景



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名: おおいたLSIクラスター構想推進事業

事業概要: 半導体産業の競争力強化のため、人材育成や技術向上などを支援

予算額: 2,892万円

☆事業名: 宇宙関連産業創出事業

事業概要: 宇宙関連産業の創出・振興を図るため、衛星データの活用や各種実証に挑戦する県内企業を支援

予算額: 6,887万円(補助金 補助率2/3、限度額50~200万円)

☆事業名: 地域牽引企業創出事業

事業概要: 県経済の新たな牽引役となる企業を創出するため、飛躍的な成長を目指す地場中小企業者の人材育成や商品・サービス力強化などを支援

予算額: 1億3,841万円(補助金 補助率1/2~2/3、限度額5,000万円)

【てんこう】

「てんこう」は九州工業大学(北九州市)が計画した超小型人工衛星打ち上げプロジェクトです。開発に当たっては、ロケット打上げの時の厳しい機械的環境に耐荷できる「軽量構造」の開発が課題でした。

ニジマ精機はアルミニウム合金製の内部構造を担当し、ロケット打上げ時の振動を考慮した溶接を使用しない厚さ1ミリレベルの削出加工を行うなど、高精度の技術を提供しました。